

## 中学2年生 地理 年間指導計画表

教科目(単位数)	地理(2単位)
年間目標	世界的視野や日本全体の視野から見た日本の地域的特色を取り上げ、我が国の国土の特色を、自然環境、人口、環境、エネルギーと産業、地域間の結びつきの視点から大観させる。また、日本をいくつかの地域に区分し、それぞれの地域について、自然環境、歴史的背景、産業、環境問題や環境保全、人口や都市、村落、生活・文化、他地域との結びつきのいずれかを中核とした考察をもとにして地域的特色をとらえさせる。
使用教科書	帝国書院『社会科 中学生の地理 世界のすがたと日本の国土』、『新編中学校社会科地図』
使用補助教材	とうほう『中学白地図 II』、育伸社『iワーク 地理II』(帝国書院版)、『学習の達成 社会(帝)地理 日本』

学期	区分	単元	内容	目標・留意点
1	前 半	2章 世界と比べた日本の地域的特色 1節 自然環境の特色  2節 人口の特色	①世界と比べた日本の山地  ②世界と比べた日本の平野 ③日本の海岸と海流 ④世界の気候の特色 ⑤日本の気候の特色 ⑥日本のさまざまな自然災害と防災	①世界の山脈が連なる造山帯の中に位置し、地震や火山が多い日本の山地の特色を理解する。 ②日本の河川および平野の特色を理解する。 ③日本の主な海岸地形と海流について理解する。 ④雨温図や写真などを活用し、各気候帯を理解する。 ⑤日本の気候の特色と地域の気候の違いについて理解する。 ①世界の人口の増加、増加した地域について理解する。 ②日本の人口について、年齢別構成の特色を知り、生活に及ぼす影響について理解する。
	後 半	2章 世界と比べた日本の地域的特色 3節 資源や産業の特色  4節 地域間の結びつきの特色  3章 日本の諸地域 序説 日本の諸地域を学ぶにあたって 1節 九州地方	①エネルギー・鉱山資源の生産と消費  ②世界の中の日本の産業  ③日本の農業とその変化 ④日本の林業・漁業 ⑤日本の工業とその変化  ⑥日本の商業・サービス業  ①世界の交通・通信網と日本  ②日本の交通・通信網  ①九州地方はどのような地方だろうか ②火山のめぐみと防災への取り組み ③九州地方の都市や都市や工業と自然環境 ④自然環境と農業のくふう ⑤沖縄の自然環境とくらしや産業	①国内の産業の動向、環境やエネルギーに関する課題を取り上げ、日本の資源・エネルギーと産業に関する特色を大観する。 ②世界における日本の産業の特色の変化を理解する。 ③農業地の広がりや特色を自然・社会条件との関係に着目し理解する。 ④日本の林業・漁業の現状を理解する。 ⑤工業地域や工業出荷額をもとに、特色と変化を理解する。 ⑥産業別人口にしめる第3次産業の割合を考える。  ①日本はどのように交通・通信と結びついているか、モノ・ヒト・情報から考える。 ②日本の交通・通信網の発達と生活の関係を理解する。  ①九州地方を概観し自然や人々の生活の特色を理解する。 ②火山のめぐみと火山による災害と防災の取り組みを理解する。 ③大陸に近い九州地方の都市や工業の特色とアジアとの結びつきについて考える。 ④温暖な気候や火山、自然環境を生かした九州の農業の特色を考える。 ⑤沖縄の自然環境とくらし、産業との関わりについて考える。
2	前 半	3章 日本の諸地域 2節 中国・四国地方  3節 近畿地方	①中国・四国地方はどのような地方だろうか  ②交通網の発達と地域の生活の変化  ③海運と陸運で結びつく工業  ④高速道路で広がる結びつき  ①近畿地方はどのような地方だろうか  ②琵琶湖の水が支える京阪大都市圏  ③近畿地方の工業と環境保全 ④古都・奈良・京都と歴史的景観の保全  ⑤環境に配慮した近畿地方の農林水産業	①中国・四国地方を概観し自然や人々の生活の特色を理解する。 ②中国・四国地方の工業や物の流れ、交通網の整備との関連を考える。 ③中国・四国地方の工業や物の流れを理解する。  ④中国・四国地方と他の地域を結び付けている交通網を考える。 ①近畿地方を概観し自然や人々の生活の特色を理解する。 ②大阪・神戸の特色と琵琶湖の水が京阪大都市圏を支えていることを理解する。 ③京阪工業地帯の特色を理解する。 ④古都奈良・京都の町並み変化と環境保全について考える。 ⑤近畿地方が環境に配慮した農林水産業を行っていることを理解する。

学 期	後 半	3章 日本の諸地域 4節 中部地方  5節 関東地方	①中部地方はどのような地方だろうか  ②輸送機械工業がさかんな東海  ③名古屋大都市圏と東海の農業 ④変化する中央高地の産業  ⑤北陸の産業と雪とのかかわり  ①関東地方はどのような地方だろうか  ②多くの人口を引き寄せる東京 ③東京大都市圏の拡大と都市  ④人口の集中による都市問題とその対策 ⑤工業の発展とともに集中した人口  ⑥大都市圏のまわりの地域のようす	①中部地方を概観し自然や人々の生活の特色を理解する。 ②東海ではなぜ輸送機械工業がさかんになったのか、歴史的背景を含めながら考える。 ③名古屋大都市圏と東海の農業を理解する。 ④中央高地の農業・工業の特色と変化について理解する。 ⑤北陸で稲作や伝統的工芸品をつくる産業がさかんな理由を考える。 ①関東地方を概観し自然や人々の生活の特色を理解する。 ②首都東京の機能と特色について考える。 ③東京大都市圏とそのなかの都市について、人口集中による住宅地の拡大について考える。 ④人口集中による都市問題と解決策を考える。 ⑤関東地方の工業の発展と人口集中、工業地域の拡大を関連付けて理解する。 ⑥関東地方の農業地域や山間部のようすを近郊農業や過疎化への取り組みに着目して調べる。
	3 学 期	3章 日本の諸地域 6節 東北地方  7節 北海道地方	①東北地方はどのような地方だろうか  ②伝統行事をはぐくんだ東北の農業 ③生活の変化と産業  ④人々がくらす街並みとその変化  ①北海道地方はどのような地方だろうか  ②開発の歴史と都市  ③自然のきびしさを克服した歴史と農業  ④外国とのかかわりの歴史によって変化した漁業	①東北地方を概観し自然や人々の生活の特色を理解する。 ②東北地方の伝統行事と農業との関係する。 ③東北地方の伝統工芸品の由来と変化、及び農家の生活との関わりを調べる。 ④東北地方に残る伝統的な街並みのようすと中心都市仙山のようすを理解する。 ①北海道地方を概観し自然や人々の生活の特色を理解する。 ②北海道地方の産業や押しの発達のようすをアイヌの人々の文化や開拓の歴史に着目し調べる。 ③北海道の農業が、自然の厳しさと向き合い克服した歴史に着目し調べる。 ④北海道地方の漁業が外国との関わりによって取れる魚の種類が変化していることを理解する。

評価方法	①定期試験の成績 ②提出物(課題、授業ノート)などの提出状況 ③学習態度・発言などの平常点(※①②③の合計で評価)
------	---

学習方法	①教科書をよく読むこと。授業前には一読しておくこと。 ②ノートは毎時間、しっかりとること。字(地名は漢字で覚えること)・図を丁寧に、間違えないように書くことを心がける。 ③地図帳を活用すること。 ④副教材(白地図・問題集)でしっかり理解出来ているか確認し、理解があいまいな場合は繰り返し学習をすること。
------	--

注意事項	※地名など、教科書に漢字で出ている地理用語は漢字で覚えること。 ※第4章は夏休みの宿題となるので、日ごろから日本の地理、世界の地理に関心を持って生活をする事。 ※中学校地理の知識は、一生の糧になるので、興味関心・知的好奇心を持ち続けること。
------	--

インフルエンザ等 臨時休校になった 場合の課題	『iワーク 地理Ⅱ』(育伸社)を活用し、授業の予習・復習をする。
-------------------------------	----------------------------------